

施工状況実態調査

調査表

【調査票_保温工事】

記入例

本調査は、公共建築工事の施工実態を把握することを目的とし、公共建築工事の積算基準に反映するために実施しているものです。また、労務費の基準の設定にも活用される可能性があるものです。

調査票の記入結果については国土交通省における検討以外の目的には使用せず、また外部には公開いたしません。主旨をご理解いただき、事実をありのままご回答下さい。

○提出いただいたデータの取扱いについて

ご提出いただいたデータは本調査の目的以外に使用することなく、秘密保持に努め、情報漏洩等が無いよう十分注意し取り扱い致します。

国土交通省 大臣官房 官庁営繕部

記入例

番号	項目	ご記入欄	
■ 会社情報			
1	施工会社名・支店名	(株)〇〇建設・〇〇支店	貴社の会社名をご記入ください。
2	所在地_郵便番号	105-0004	貴社の郵便番号をご記入ください。
3	所在地_住所	東京都港区新橋〇〇	貴社の住所をご記入ください。
4	TEL	03-1234-5678	ご記入者へ連絡が取れる電話番号をご記入ください。
5	FAX	03-1234-5679	貴社のFAX番号をご記入ください。
6	御担当者名	建設太郎	記入内容について、問合せをすることがあります。内容について回答が出来る方をご記入ください。
7	E-mail	〇〇〇@〇〇〇	記入内容について、メールで問い合わせすることがあります。
8	就労形態_1	4週8休	▼から貴社の就労形態について・4週8休・4週7休・4週6休・4週5休・4週4休・その他を選択。
9	就労形態_2 上記その他の場合	変形労働制	上記、就労形態で「その他」を選択した場合、貴社の就労形態についてご記入ください。
■ 建物種別・施工規模			
10	工事名	〇〇庁舎新築工事	工事名をご記入ください。
11	施工場所	東京都中央区日本橋〇〇	施工場所の住所を都道府県からご記入ください。
12	建物種別	庁舎	▼から・事務所・庁舎・共同住宅・学校・研究所・福祉施設・病院・体育館・その他を選択 / 病院・体育館・その他はモデル建物でご回答ください。
13	構造	RC造	▼から・RC造・SRC造・S造・その他を選択 / ・その他はモデル建物でご回答ください。
14	階高	3.5~4.0m程度	▼から・2.8m程度・3.5~4.0m程度・5.0m程度・その他を選択してください / ・5.0m程度・その他はモデル建物で回答して下さい。
15	形状	単純（基準階から最上階まで同一平面の多いもの）	▼から・単純・複雑・その他を選択してください / ・複雑・その他はモデル建物で回答して下さい。複雑：例えば、上層階がセットバックしている建物などです。内部が複雑な建物のことではありません。外形が単純（外形が、基準階から最上階まで概ね同一平面の多いもの）は、内部の間仕切りが同一でない場合でも「単純」にして下さい。
16	延床面積（m ² ）	5000	対象建物の延床面積をご記入ください。
17	階数_地上	5	対象建物の階高（地上）をご記入ください。
18	階数_地下 地下がない場合「0」	0	対象建物の階高（地下）をご記入ください。 ※地下がない場合は「0」として下さい。

記入例

■ 契約関連			
19	契約金額 (税抜)	¥12,800,000	元請け等との契約金額を「税抜き」でご記入ください。
20	年	2025	▼から元請け等と契約した工期の開始「年」を選択
21	工期開始 月	4	▼から元請け等と契約した工期の開始「月」を選択
22	日	1	▼から元請け等と契約した工期の開始「日」を選択
23	年	2026	▼から元請け等と契約した工期の完了「年」を選択
24	工期完了 月	5	▼から元請け等と契約した工期の完了「月」を選択
25	日	1	▼から元請け等と契約した工期の完了「日」を選択
■ 施工条件			
26	1. 時間的制約の有無	無	▼から施工中に「時間的制約」があった場合は「有」、制約がなかった場合は「無」を選択。
27	必要に応じてご記入 上記「有」の場合		上記で「有」を選択した場合、具体的な内容をご記入ください。
28	2. 交通規制の有無	無	▼から施工中に「交通規制」があった場合は「有」、制約がなかった場合は「無」を選択。
29	必要に応じてご記入 上記「有」の場合		上記で「有」を選択した場合、具体的な内容をご記入ください。
30	3. 作業ヤード狭隘の有無	有	▼から「作業ヤード狭隘」があった場合は「有」、制約がなかった場合は「無」を選択。
31	必要に応じてご記入 上記「有」の場合	トイレ内排水管の設置で一部、狭隘な箇所あり	上記で「有」を選択した場合、具体的な内容をご記入ください。
32	必要に応じてご記入 その他_1 (具体的な内容)		上記以外に施工制約及び障害があった場合、具体的な内容をご記入ください。(主に制約・障害があった事項を3つまで)
33	必要に応じてご記入 その他_2 (具体的な内容)		"
34	必要に応じてご記入 その他_3 (具体的な内容)		"

記入例

【様式1-1】施工別概要

建物1棟を施工するに当たり、保温工事で作業員何人で何日かかるか、下記の項目についてご回答下さい。

1. 工事全体の施工量、作業員数、施工日数、作業時間割合をご回答ください。

スパイラルダクト保温の記入事例
 1. 調査対象の「屋内隠ぺいダクトシャフト内 グラスール保温32k 口径200」の施工数量は、建物一棟で「389m」で、その他スパイラル保温は、「693m」を施工
 2. 保温工事の開始から保温工事が終了まで、二次、三次下請けを含む、延べ作業員数は「470人」
 3. 各作業日に現場へ入った作業員数は、平均で「8人」
 4. スパイラルダクトの施工は、平均的には「2人」で作業し、残り6~7人はその他のダクト保温や配管保温を施工
 5. 保温工事の開始から保温工事が終了までに、作業した日数の合計は「49日」
 6. スパイラルダクトの保温に要した日数は「47日」
 7. ダクト保温と配管保温はフロア単位で、平行して作業を実施しており、保温工事全体に占める作業時間の割合は、ダクト保温「65%」、配管保温で「35%」程度
 8. ダクト保温全体の作業時間のうち、スパイラルダクトの作業割合は、調査対象の屋内隠ぺいダクトシャフト内の口径200で「20%」程度、調査対象以外のスパイラルダクト保温は「30%」程度

保温

番号	項目	ダクト保温												備考						
		長方形ダクト		スパイラルダクト		消音内貼		給水・排水・冷温水等配管												
区分		【調査対象所】		【調査対象所】		【調査対象所】		【調査対象所】												
作業場所		屋内隠ぺい・ダクトシャフト内	調査対象以外	屋内隠ぺい・ダクトシャフト内	調査対象以外	消音チャンバー・消音エルボ	調査対象以外	機械室・書庫・倉庫		天井内・パイプシャフト内				調査対象以外						
								給水管・排水（ドレン含む）及び通気管・給湯管・温水管（膨張管含む）		冷水・冷温水管（膨張管を含む）・冷媒管		給水管・排水（ドレン含む）及び通気管・給湯管・温水管（膨張管含む）			冷水・冷温水管（膨張管含む）・冷媒管					
								グラスール保温												
								全サイズ		口径200		保温厚25			呼び径25	呼び径100	呼び径65	呼び径25	呼び径100	呼び径65
■ 工事全体の施工量		単位	m2	m2	m	m	m2	m2	m	m	m	m	m	m						
1	出来高数量（施工量）1棟あたり		516	229	389	693	2	2	5	4	20	69	111	73	933					
■ 作業員数		単位	工事全体の施工量を調査対象所と対象以外に分けて、ご記入ください。																	
2	保温工事全体の延べ作業人数	人	470 ← 保温工事全体の延べ作業人数（二次、三次下請けを含む）をご記入ください。																	
3	工事全体における1日あたりの平均的な作業員数	人/日	8 ← この現場の保温工事における、作業員数の平均人数をご記入ください。																	
4	各作業場所の平均的な労務編成	人	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2						
■ 施工日数		単位	各作業場所の労務編成をご記入ください。																	
5	保温工事全体の施工日数	日	49 ← 保温工事全体の延べ施工日数をご記入ください。																	
6	ダクト保温各作業場所と配管保温の施工日数	日	45	47	20							47								
7	ダクト保温と配管保温の作業時間割合	単位	保温工事全体を100%とした場合 ← ダクト保温と配管保温の施工日数をご記入ください。 100.0%																	
		%	65.0% ← ダクト保温と配管保温の作業時間割合をご記入ください		35.0%															
8	各作業場所の作業時間割合	単位	ダクト保温全体を100%とした場合				100.0%				配管保温全体を100%とした場合				100.0%					
		%	20.0%	10.0%	20.0%	30.0%	5.0%	15.0%	8.0%	1.0%	2.0%	7.0%	13.0%	9.0%	60.0%					

ダクト保温の各作業場所の作業割合をご記入ください。

配管保温の各作業場所の作業割合をご記入ください。

記入例

2. 保温工事の総作業時間の構成内容（保温材、外装材の加工組立の作業時間や準備のための時間などが何パーセント程度か）をご回答ください。

番号	項目	ご記入欄	割合	備考
■ 作業時間の構成割合		割合		
1	保温材、外装材の加工組立	ご記入ください	70.0%	% 番号2～7の割合が不明な場合、加工組立時間にまとめてご記入ください。
2	準備、清掃、後片付け（持込材の集積、片付け・管理含む）	ご記入ください	5.0%	昼休憩以外の休憩時間は、作業効率化、安全対策などの観点から準備時間に含めてください。
3	場内小運搬	ご記入ください	5.0%	材料の場内水平運搬が対象。揚重機による運搬は対象外となります。
4	雑作業（工具、材料探し及び資材チェック）	ご記入ください	5.0%	作業割合が不明な場合は、加工組立に含めてください。
5	施工後の点検（専門工事業者による施工後の自主点検）	ご記入ください	5.0%	元請け等による第三者の検査は対象外となります。
6	発生材処理（ゴミなどの場内指定場所への集積）	ご記入ください	5.0%	発生材の場外搬出は対象外となります。
7	作業用足場設置（脚立等の作業用足場の組立、移動および撤去）	ご記入ください	5.0%	高所作業車本体及びその搬入・搬出は対象外となります。
8	その他①（備考に作業内容を記載）	必要に応じて記入		番号1～7以外の作業がある場合、備考に作業内容をご記入ください。
9	その他②（備考に作業内容を記載）	必要に応じて記入		"
10	その他③（備考に作業内容を記載）	必要に応じて記入		"
11	その他④（備考に作業内容を記載）	必要に応じて記入		"
12	構成割合の合計（当該欄を100%にするように各作業の割合を入力して下さい）	記入不要（自動計算）	100.0%	

記入例

番号	項目	ご記入欄	備考
■ 保温現場加工・組立の諸経費率			
		貴社の諸経費（現場管理費及び一般管理費）等の率をご記入ください。 率 単位	
1	諸経費率	【材料費+労務費+雑費（機械器具・運搬費）】× 合わせての率または、	15.0% % 現場管理費、一般管理費等 合わせての率
2	"	"	10.0% % 現場管理費の率
3	"	"	5.0% % 一般管理費等の率
■ 諸経費の内訳①【現場管理費の項目】			
		対象	
3	労務管理費	現場雇用労働者（各現場で元請企業が臨時に直接雇用する労働者）及び現場労働者（再下請を含む下請負契約に基づき現場労働に従事する労働者）の労務管理に要する費用 ・募集及び解散に要する費用 ・慰安、娯楽及び厚生に要する費用 ・純工事費に含まれない作業用具及び作業用被服等の費用 ・賞金以外の食事、通勤費等に要する費用 ・安全、衛生に要する費用及び研修訓練等に要する費用 ・労災保険法による給付以外に災害時に事業主が負担する費用	○ 対象となる項目は、○を選択して下さい。
4	租税公課	工事契約書等の印紙代、申請書・謄抄本登記等の証紙代、固定資産税・自動車税等の租税公課、諸官公署手続き費用	○ 対象となる項目は▼をクリックして「○」を選択
5	保険料	火災保険、工事保険、自動車保険、組立保険、賠償責任保険、法定外の労災保険及びその他の損害保険の保険料	○
6	従業員給料手当	現場従業員（元請企業の社員）及び現場雇用従業員（各現場で元請企業が臨時に直接雇用する従業員）並びに現場雇用労働者の給与、諸手当（交通費、住宅手当等）、賞与及び外注人件費（「施工図等作成費」を除く。）に要する費用	○
7	施工図等作成費	施工図・完成図等の作成に要する費用	×
8	退職金	現場従業員に対する退職給付引当金繰入額及び現場雇用従業員、現場雇用労働者の退職金	○
9	法定福利費	現場従業員、現場雇用従業員、現場雇用労働者及び現場労働者に関する次の費用 ・現場従業員、現場雇用従業員及び現場雇用労働者に関する労災保険料、雇用保険料、健康保険料及び厚生年金保険料の事業主負担額 ・現場労働者に関する労災保険料の事業主負担額 ・建設業退職金共済制度に基づく証紙購入代金	○
10	福利厚生費	現場従業員に対する慰安、娯楽、厚生、貸与被服、健康診断、医療、慶弔見舞等に要する費用	○
11	事務用品費	事務用消耗品費、OA機器等の事務用備品費、新聞・図書・雑誌等の購入費、工事写真・完成写真代等の費用	○
12	通信交通費	通信費、旅費及び交通費	○
13	補償費	工事施工に伴って通常発生する騒音、振動、濁水、工事用車両の通行等に対して、近隣の第三者に支払われる補償費。ただし、電波障害等に関する補償費を除く	○
14	その他	会議費、式典費、工事実績の登録等に要する費用、各種調査に要する費用、その他上記のいずれの項目にも属さない費用	○

記入例

■ 諸経費の内訳②【一般管理費等の項目】		対象	
15 役員報酬等	取締役および監査役に要する報酬および賞与（損金算入分）	○	
16 従業員給与手当	本店及び支店の従業員に対する給与、諸手当及び賞与（賞与引当金繰入額を含む。）	○	
17 退職金	本店及び支店の役員及び従業員に対する退職金（退職給与引当金繰入額及び退職年金掛金を含む）	○	
18 法定福利費	本店及び支店の従業員に関する労災保険料、雇用保険料、健康保険料及び厚生年金保険料の事業主負担額	○	
19 福利厚生費	本店及び支店の従業員に対する慰安、娯楽、貸与被服、医療、慶弔見舞等の福利厚生等に要する費用	○	
20 維持修繕費	建物、機械、装置等の修繕維持費、倉庫物品の管理費等	○	
21 事務用品費	事務用消耗品費、固定資産に計上しない事務用備品、新聞参考図書等の購入費	○	
22 通信交通費	通信費、旅費及び交通費	○	
23 動力用水光熱費	電力、水道、ガス等の費用	○	
24 調査研究費	技術研究、開発等の費用	○	
25 広告宣伝費	広告、公告又は宣伝に要する費用	×	
26 交際費	得意先、来客等の接待、慶弔見舞等に要する費用	○	
27 寄付金	社会福祉団体等に対する寄付	×	
28 地代家賃	事務所、寮、社宅等の借地借家料	○	
29 減価償却費	建物、車両、機械装置、事務用備品等の減価償却額	○	
30 試験研究償却費	新製品又は新技術の研究のための特別に支出した費用の償却額	×	
31 開発償却費	新技術又は新経営組織の採用、資源の開発並びに市場の開拓のため特別に支出した費用の償却額	×	
32 租税公課	不動産取得税、固定資産税等の租税及び道路占有料その他の公課	○	
33 保険料	火災保険その他の損害保険料	○	
34 契約保証費	契約の保証に必要な費用	○	
35 雑費	社内打合せの費用、諸団体会費等の上記のいずれの項目にも属さない費用	○	
36 付加利益	法人税、都道府県民税、市町村民税等（表-3の租税公課に含むものを除く） 株主配当金 役員賞与（損金算入分を除く） 内部留保金 支払利息及び割引料、支払保証料その他の営業外費用	○	

記入例

配管保温

ダクト保温の記入例と同様に配管保温についてもご回答ください。

番号	ご記入欄											消耗品・雑材料として率計上している補助材は、プルダウンから率計上を選択ください。 (率計上の場合、所要数量の回答は不要)
	給水管・排水管、給湯管及び温水管(膨張管を含む。) グラスウール保温						冷水・冷温水管(膨張管を含む)・冷媒管 グラスウール保温					
	機械室・書庫・倉庫			天井内・パイプシャフト内			機械室・書庫・倉庫		天井内・パイプシャフト内			
	呼び径25		呼び径100		呼び径25		呼び径100		呼び径65			
	所要数量	ロス率	所要数量	ロス率	所要数量	ロス率	所要数量	ロス率	所要数量	ロス率		
1	主材料	グラスウール保温筒	厚20	m								
2	主材料	グラスウール保温筒	厚25	m								
3	主材料	グラスウール保温筒	厚30	m								
4	主材料	グラスウール保温筒	厚40	m								
5	主材料	グラスウール保温筒	厚50	m								
6	主材料	アルミグラスクロス化粧保温筒	厚20	m								
7	主材料	アルミグラスクロス化粧保温筒	厚25	m								
8	主材料	アルミグラスクロス化粧保温筒	厚40	m								
9	補助材	カパーピン		個								
10	補助材	原紙		m ²								
11	補助材	アルミグラスクロス化粧原紙		m ²								
12	補助材	ポリエチレンフィルムフィルム	100幅	m								
13	補助材	ポリエチレンフィルムフィルム	125幅	m								
14	補助材	ポリエチレンフィルムフィルム	150幅	m								
15	補助材	ポリエチレンフィルムフィルム	200幅	m								
16	補助材	ポリエチレンフィルムフィルム	250幅	m								
17	補助材	垂鉛めっき鉄線 JIS G 3457		m								
18	外装材	アルミグラスクロス粘着テープ	60幅	m								
19	外装材	アルミグラスクロス粘着テープ	100幅	m								
20	外装材	合成樹脂製カバー シートタイプ		m ²								
21	外装材	合成樹脂製カバー ジャケットタイプ	厚20用	m								
22	外装材	合成樹脂製カバー ジャケットタイプ	厚25用	m								
23	外装材	合成樹脂製カバー ジャケットタイプ	厚30用	m								
24	外装材	合成樹脂製カバー ジャケットタイプ	厚40用	m								
25	外装材	合成樹脂製カバー ジャケットタイプ	厚50用	m								
26	外装材	アルミグラスクロス	75幅	m								
27	外装材	アルミグラスクロス	100幅	m								
28	外装材	アルミグラスクロス	125幅	m								
29	外装材	アルミグラスクロス	150幅	m								
30	外装材	着色アルミグラスクロス	75幅	m								
31	外装材	着色アルミグラスクロス	100幅	m								
32	外装材	着色アルミグラスクロス	125幅	m								
33	外装材	着色アルミグラスクロス	150幅	m								
34	外装材	カラー垂鉛鉄板	0.27mm	m								
35	外装材	カラー垂鉛鉄板	0.35mm	m								
36	外装材	溶融アルミニウム-垂鉛鉄板	0.27mm	m								
37	外装材	溶融アルミニウム-垂鉛鉄板	0.35mm	m								
38	外装材	ステンレス鋼板	0.2mm	m								
39												
40												
41												
42												

記入例

■作業か所別の消耗費雑材料等の率

・消耗品・雑材料の率（一般ダクト 長方形ダクト（グラスウール保温材））

材料費に対する率でご回答下さい。

材料費 × %

・消耗品・雑材料の率（一般ダクト スパイラルダクト（グラスウール保温材））

材料費に対する率でご回答下さい。

材料費 × %

・消耗品・雑材料の率（消音内貼（グラスウール保温材））

材料費に対する率でご回答下さい。

材料費 × %

・消耗品・雑材料の率（給水管、排水管、給湯管及び温水管（膨張管を含む。）（グラスウール保温材））

材料費に対する率でご回答下さい。

材料費 × %

・消耗品・雑材料の率（冷水・冷温水管（膨張管を含む）・冷媒管（グラスウール保温材））

材料費に対する率でご回答下さい。

材料費 × %

「率計上」を選択した場合、
材料費に対する消耗費雑材
料費の率でご回答ください。

【様式2】歩掛り 記入例 保温

※水色の記入欄はプルダウンメニューから選択して下さい。黄色の記入欄は記入するようお願いします。

当該工種のうち、調査対象の各作業か所の標準的な1日の各数量等をご回答下さい。
 標準的な労務編成の記入が難しい場合は、工事全体に必要な人数（外注も含む）の合計を日数で割り戻してご回答下さい。

・貴社の施工実績をご記入する場合、外注の方も含めてご記入下さい。

【調査対象】

番号	施工か所	区分	保温材質	単位
①	長方形ダクト 保温	屋内隠べい、ダクトシャフト内	グラスウール	m2
②	スパイラルダクト 保温	屋内隠べい、ダクトシャフト内 口径200	グラスウール	m
③	消音チャンパー 保温	消音内貼 保温厚25	グラスウール	m2
④	給水管・排水（フレソ含む）及び通気管・給湯管・温水管（膨張管含む）保温	機械室、書庫、倉庫 及び天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中 呼び径25・100	グラスウール	m
⑤	冷水・冷温水管（膨張管を含む）・冷媒管保温 保温	機械室、書庫、倉庫及び天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中 呼び径65	グラスウール	m

調査対象か所の「日当り施工量」及び「歩掛り」について、貴社にて基準とされているものがある場合、ご記入をお願いします。

番号	項目	ご記入欄					備考	
■ 日当り施工量		単位	①長方形ダクト	②スパイラルダクト	③消音チャンパー	④給水・排水管	⑤冷水・冷温水管	
1	各作業か所の標準的な日当り施工量 ※日当り施工量が不明な場合は、ご記入不要です。	m2・m/日	7	13	5	13	7	機械室、書庫、倉庫 ④呼び径25 ⑤呼び径65
						7		機械室、書庫、倉庫 ④呼び径100
						27	9	天井内、パイプシャフト内及び空隙中 ④呼び径25 ⑤呼び径65
						13		天井内、パイプシャフト内及び空隙中 ④呼び径100
2	各作業か所の貴社で設定している歩掛り ※歩掛りの設定がなければ、ご記入不要です。	m2・m/人	0.15	0.08	0.199	0.077	0.147	機械室、書庫、倉庫 ④呼び径25 ⑤呼び径65
						0.148		機械室、書庫、倉庫 ④呼び径100
						0.037	0.109	天井内、パイプシャフト内及び空隙中 ④呼び径25 ⑤呼び径65
						0.076		天井内、パイプシャフト内及び空隙中 ④呼び径100
■ 1日当りの標準的な施工時間			①長方形ダクト	②スパイラルダクト	③消音チャンパー	④給水・排水管	⑤冷水・冷温水管	単位 其他車種等
3	現場始業時間		8:00	8:00	8:00	8:00	8:00	朝礼・作業指示・KY・準備体操等時間を含んだ時間として下さい。
4	現場終業時間		17:00	17:00	17:00	17:00	17:00	当該作業の片付けを含んだ時間として下さい。
5	①朝礼・作業指示・KY・準備体操等時間		5分	5分	5分	5分	5分	分
6	②作業準備・後片付け		10分	10分	10分	10分	10分	分
7	③昼休憩		60分	60分	60分	60分	60分	分
8	④休憩時間（昼休み以外）		60分	60分	60分	60分	60分	分
9	日当り平均施工時間（歩掛り対象時間）		8時間00分	8時間00分	8時間00分	8時間00分	8時間00分	時間・分

各作業時間を▼をクリックして選択してください。
(5分単位)

【様式2】歩掛り

記入例

保温

■ 機械器具			①長方形ダクト ②スパイラルダクト ③消音チャンバー ④給水・排水管 ⑤冷水・冷温水管					
10	現場での工作機使用の有無		無	無	無	有	無	
■ 労務編成人員【標準的な一日当り】 ※2次、3次下請け等も含めてご回答下さい。			①長方形ダクト ②スパイラルダクト ③消音チャンバー ④給水・排水管 ⑤冷水・冷温水管					その他職種名
11	作業員	職種	保温工	保温工	保温工	保温工	保温工	現場で工作機を使用した場合「有」、使用なかった場合「無」を選択してください。また、「有」の場合は、工作機、工具等の運搬費について、材料費+雑材料費に対する割合(率)で回答ください。
		年齢	41歳~50歳	31~40歳	21~30歳	41歳~50歳	51歳~60歳	
12	2. 作業員	職種	保温工	保温工	保温工	保温工	保温工	普通作業員
		年齢	21~30歳	31~40歳	41歳~50歳	51歳~60歳	31~40歳	
13	3. 作業員	職種	その他(備考に職種記入)					職種がその他の場合は、備考に該当する職種をご記入ください。
		年齢	21~30歳					
14	4. 作業員	職種						
		年齢	0~3年未満					
15	5. 作業員	職種						
		年齢						
16	6. 作業員	職種						
		年齢						
17	7. 作業員	職種						
		年齢						
18	8. 作業員	職種						
		年齢						
19	9. 作業員	職種						
		年齢						
20	10. 作業員	職種						
		年齢						

【職種】▼をクリックして以下から選択
・保温工
・ダクト工
・その他

【年齢】▼をクリックして以下から選択
・15~20歳
・21~30歳
・31~40歳
・41歳~50歳
・51歳~60歳
・61歳~70歳
・71歳以上

【経験年数】▼をクリックして以下から選択
・0~3年未満
・3~7年未満
・7~10年未満
・10~20年未満
・20年以上

職種がその他の場合は、備考に該当する職種をご記入ください。

現場で工作機を使用した場合「有」、使用なかった場合「無」を選択してください。また、「有」の場合は、工作機、工具等の運搬費について、材料費+雑材料費に対する割合(率)で回答ください。

■工作機、工具類の運搬費の率

工作機等の使用がない場合、ご記入不要です。

・専用機械、工作機の運搬費の率（一般ダクト 長方形ダクト（グラスウール保温材））

材料費 + 雑材料費に対する率でご回答下さい。

$$(\text{材料費} + \text{雑材料費}) \times 6.00\% \%$$

・専用機械、工作機の運搬費の率（一般ダクト スパイラルダクト（グラスウール保温材））

材料費 + 雑材料費に対する率でご回答下さい。

$$(\text{材料費} + \text{雑材料費}) \times 7.00\% \%$$

・専用機械、工作機の運搬費の率（消音内貼（グラスウール保温材））

材料費 + 雑材料費に対する率でご回答下さい。

$$(\text{材料費} + \text{雑材料費}) \times 8.00\% \%$$

・専用機械、工作機の運搬費の率（給水管、排水管、給湯管及び温水管（膨張管を含む。）（グラスウール保温材））

材料費 + 雑材料費に対する率でご回答下さい。

$$(\text{材料費} + \text{雑材料費}) \times 9.00\% \%$$

・専用機械、工作機の運搬費の率（冷水・冷温水管（膨張管を含む）・冷媒管（グラスウール保温材））

材料費 + 雑材料費に対する率でご回答下さい。

$$(\text{材料費} + \text{雑材料費}) \times 10.00\% \%$$

【様式3】施工実態に関するアンケート

保温

※水色の欄はプルダウンメニューから選択して下さい。黄色色の欄は記入するようお願いします。

保温工事（ダクト）は平成15年度より、保温工事（配管）は平成21年度より市場単価方式に移行していますが、移行後から現在に至るまでに技術基準等の改定、新技術・新工法の開発による技術動向の変化、社会的環境の変化等により、施工実態に変化はありましたか。

下記項目について影響があった場合は、「生産性が向上した」・「生産性が低下した」の選択肢のうち、より影響が大きかった方を選択して下さい。

また、具体例についてもご回答下さい。

特に影響が無かった場合は、「影響は無かった」を選択して下さい。

【具体例】
生産性が向上or低下した場合、具体例を回答

■施工実態の変化について

項目	影響の有無 (生産性の向上・低下)	具体例
① 現場組立作業の効率化	影響は無かった	
② 充電式電動工具の普及	影響は無かった	
③ 空調服の導入	生産性が向上した	熱中症対策として効果があり、作業効率が向上した。
④ コロナの影響	生産性が低下した	作業員の確保が難しい時期があった。
	生産性が低下した	一日当りの作業量が落ちることがある。
⑤ 高齢化による影響	生産性が低下した	作業員の確保が難しい時期があった。
⑥ 担い手不足	生産性が低下した	作業員の確保が難しい時期があった。
⑦ 外国人材（技能実習生を含む）	生産性が向上した	若く、体力があるので施工効率がよい。
⑧ 週休2日（4週8閉所、6閉所などの休日の増加）	生産性が向上した	休日が多くなった分、一日の作業をメリハリをつけて取り組めるようになった。
⑨ 暑さ、寒さ等の気候による歩掛への影響	生産性が低下した	以前に比べて、夏季の暑さが厳しく施工効率が落ちている。
⑩ 休憩時間の増加	生産性が低下した	以前と比べ、熱中症対策等でこまめに休憩をとるようになり、作業時間が減っている。
⑪ 地域による歩掛への影響	影響は無かった	
⑫ 現場のストックヤードや作業スペースの減少	影響は無かった	
⑬ 運搬回数の変化	影響は無かった	
⑭ その他 ※具体的に記入		
⑮ その他 ※具体的に記入		
⑯ その他 ※具体的に記入		

■施工実態の変化について、何かご意見があれば自由にご記入下さい。

【様式4】規格間格比率等に関するアンケート

記入例

保温

■下記項目についてご回答下さい。

1.条件別で歩掛り設定するためのアンケートです。代表規格およびその他の規格について、単価および代表規格を100とした場合の工数の比率をご回答下さい。

施工実績がなく、単価や工数の記入が困難な規格については記入不要です。

貴社の一般的な取引価格をご回答下さい。

代表規格を100とした場合の、歩掛りの工数をご回答下さい。

①長方形ダクト保温

No.	名称・規格		材工単価 (円/m ²)	歩掛り工数 (代表規格 = 100)	ロックウール との比率
	施工箇所	保温材質・保温厚			
①-1	屋内露出（一般居室、廊下）	カラー亜鉛鉄板	18400	390	1.02
①-2	屋内露出（一般居室、廊下）	ステンレス鋼板	30300	630	1.01
②	機械室、書庫、倉庫	グラスウール40K・25mm	8720	89	1.24
代表規格	屋内隠ぺい、ダクトシャフト内	グラスウール40K・25mm	6910	100	1.05
③-1	屋外露出	カラー亜鉛鉄板	17400	400	1.02
③-2	屋外露出	ステンレス鋼板	29400	640	1.01
③-3	屋外露出	溶融アルミニウム亜鉛鉄板	17300	400	1.02
④	排煙ダクト	屋内隠ぺい	ロックウール40K・25mm	113	
材工単価の構成比 (%) 外装材の板金加工等がある場合					
材料		自社（倉庫・工場加工）	現場加工・組立・取付	諸経費	
15%		50%	15%	20%	
材工単価の構成比 (%)					
材料		現場加工・組立・取付		諸経費	
30%		50%		20%	

(基準)

基準に対する歩掛り工数の比率

上記の材工単価の内訳配分について、ご回答下さい。

作業か所の違いや、異なる保温材で施工した場合、グラスウール保温材に比べ、日当り施工量の差を比率でご回答ください。
計算式 対象の日当り施工量 ÷ 基準の日当り施工量
計算例
 ① (基準) 屋内隠ぺい、ダクトシャフト内 スパイラルダクト保温 口径200
 → 日当り施工量：8m² (一人当たり)
 歩掛り工数 0.125人/日 (1人÷8m²/日)
 ② (対象) 機械室 スパイラルダクト保温 口径200
 → 日当り施工量：7.6m² (一人当たり)
 歩掛り工数 0.131人/日 (1人÷7.6m²/日)
 ②÷① 0.131人/日 ÷ 0.125人/日 ≒ 1.05

※材工単価のうち、発生材処分にかかる労務費は、現場加工組立に含み、発生材処分費用は含まずにご回答下さい。

【様式4】規格間格比率等に関するアンケート

記入例

保温

②スパイラルダクト保温

(基準)

基準に対する歩掛り工数の比率

No.	名称・規格		材工単価 (円/m)	歩掛り工数 (代表規格 = 100)	屋内露出 (一般居室、廊下) との比率		機械室、書庫、倉庫との比率	屋外露出との比率			排煙ダクト 屋内隠べい との比率	ロックウール との比率	グラスウール 40Kとの 比率
	施工箇所・口径 (mm)	保温材質・保温厚			カー亜鉛鉄板	ステンル鋼板		カー亜鉛鉄板	ステンル鋼板	溶融アルミ カー亜鉛 鉄板			
①	屋内隠べい、ダクトシャフト内 ・ 口径100	グラスウール32K・25mm	2170	50	3.70	5.75	1.05	3.90	5.90	3.90	1.23	1.13	1.25
②	屋内隠べい、ダクトシャフト内 ・ 口径125	グラスウール32K・25mm	2480	63	3.70	5.75	1.05	3.90	5.90	3.90	1.23	1.13	1.25
③	屋内隠べい、ダクトシャフト内 ・ 口径150	グラスウール32K・25mm	2790	75	3.70	5.75	1.05	3.90	5.90	3.90	1.23	1.13	1.25
④	屋内隠べい、ダクトシャフト内 ・ 口径175	グラスウール32K・25mm	3080	88	3.70	5.75	1.05	3.90	5.90	3.90	1.23	1.13	1.25
代表規格	屋内隠べい、ダクトシャフト内 ・ 口径200	グラスウール32K・25mm	3390	100	3.70	5.75	1.05	3.90	5.90	3.90	1.23	1.13	1.25
⑤	屋内隠べい、ダクトシャフト内 ・ 口径225	グラスウール32K・25mm	3680	113	3.70	5.75	1.05	3.90	5.90	3.90	1.23	1.13	1.25
⑥	屋内隠べい、ダクトシャフト内 ・ 口径250	グラスウール32K・25mm	3960	125	3.70	5.75	1.05	3.90	5.90	3.90	1.23	1.13	1.25
⑦	屋内隠べい、ダクトシャフト内 ・ 口径275	グラスウール32K・25mm	4250	138	3.70	5.75	1.05	3.90	5.90	3.90	1.23	1.13	1.25
⑧	屋内隠べい、ダクトシャフト内 ・ 口径300	グラスウール32K・25mm	4530	150	3.70	5.75	1.05	3.90	5.90	3.90	1.23	1.13	1.25
⑨	屋内隠べい、ダクトシャフト内 ・ 口径350	グラスウール32K・25mm	5140	175	3.70	5.75	1.05	3.90	5.90	3.90	1.23	1.13	1.25
⑩	屋内隠べい、ダクトシャフト内 ・ 口径400	グラスウール32K・25mm	5800	200	3.70	5.75	1.05	3.90	5.90	3.90	1.23	1.13	1.25
⑪	屋内隠べい、ダクトシャフト内 ・ 口径450	グラスウール32K・25mm	6600	225	3.70	5.75	1.05	3.90	5.90	3.90	1.23	1.13	1.25
⑫	屋内隠べい、ダクトシャフト内 ・ 口径500	グラスウール32K・25mm	7600	250	3.70	5.75	1.05	3.90	5.90	3.90	1.23	1.13	1.25
	材工単価の構成比 (%) 外装材の板金加工等がある場合												
	材料	自社 (倉庫・工場加工)	現場加工・組立・取付	諸経費									
	15%	50%	15%	20%									
	材工単価の構成比 (%)												
	材料	現場加工・組立・取付	諸経費										
	30%	50%	20%										

※材工単価のうち、発生材処分にかかる労務費は、現場加工組立に含み、発生材処分費用は含まずにご回答下さい。

【様式4】規格間格比率等に関するアンケート

記入例

保温

③消音内貼

(基準)

基準に対する歩掛り工数の比率

No.	名称・規格		材工単価 (円/m ²)	歩掛り工数 (代表規格 = 100)	ロックウール との比率
	施工箇所	保温厚			
①	サブライチャンパー	グラスウール40K・50mm	13400	128	1.05
②	サブライチャンパー	グラスウール40K・25mm	22500	121	1.05
③	消音チャンパー	グラスウール40K・50mm	9290	111	1.05
代表規格	消音チャンパー	グラスウール40K・25mm	8790	100	1.05
④	消音エルボ	グラスウール40K・50mm	12700	111	1.05
⑤	消音エルボ	グラスウール40K・25mm	12100	100	1.05
材工単価の構成比 (%)					
材料		現場加工・組立・取付	諸経費		
30%		50%	20%		

※材工単価のうち、発生材処分にかかる労務費は、現場加工組立に含み、発生材処分費用は含まずにご回答下さい。

【様式4】規格間格比率等に関するアンケート

記入例

保温

④給水管、排水管、給湯管及び温水管（膨張管を含む。）保温

（基準）

基準に対する歩掛り工数の比率

No.	名称・規格		材工単価 (円/m)	歩掛り工数 (代表規格 = 100)	屋内露出（一般居室、廊下）との比率		機械室、書庫、倉庫との比率	暗渠内（ピット内含む）との比率	屋外露出との比率			ロックウールとの比率	ポリスチレンフォームとの比率
	施工箇所・呼び径	保温材質・保温厚			合成樹脂カバーシートタイプ	合成樹脂カバージャケットタイプ			カー垂鉛鉄板	ステンレス鋼板	溶融アルミニウム垂鉛鉄板		
①	天井内・パイプシャフト内 呼び径15mm	グラスウール・20mm	1500	95	1.57	1.74	1.34	1.66	2.66	3.27	2.66	1.14	1.11
②	天井内・パイプシャフト内 呼び径20mm	グラスウール・20mm	1550	97	1.61	1.81	1.36	1.67	2.66	3.25	2.66	1.17	1.17
代表規格	天井内・パイプシャフト内 呼び径25mm	グラスウール・20mm	1600	100	1.62	1.81	1.43	1.84	2.63	3.21	2.63	1.16	1.16
③	天井内・パイプシャフト内 呼び径32mm	グラスウール・20mm	1710	103	1.68	1.89	1.47	1.84	2.70	3.30	2.70	1.18	1.16
④	天井内・パイプシャフト内 呼び径40mm	グラスウール・20mm	1770	111	1.66	1.88	1.49	1.85	2.68	3.28	2.68	1.17	1.17
⑤	天井内・パイプシャフト内 呼び径50mm	グラスウール・20mm	1890	124	1.65	1.85	1.48	1.83	2.65	3.25	2.65	1.13	1.11
⑥	天井内・パイプシャフト内 呼び径65mm	グラスウール・20mm	2130	141	1.63	1.83	1.40	1.73	2.73	3.36	2.73	1.12	1.10
⑦	天井内・パイプシャフト内 呼び径80mm	グラスウール・20mm	2290	151	1.64	1.84	1.43	1.77	2.73	3.36	2.73	1.14	1.11
⑧	天井内・パイプシャフト内 呼び径100mm	グラスウール・25mm	3070	205	1.59	1.78	1.42	1.75	2.59	3.16	2.59	1.13	1.09
⑨	天井内・パイプシャフト内 呼び径125mm	グラスウール・25mm	3620	257	1.55	1.72	1.35	1.66	2.54	3.09	2.54	1.11	1.07
⑩	天井内・パイプシャフト内 呼び径150mm	グラスウール・25mm	4260	303	1.51	1.67	1.30	1.61	2.49	3.04	2.49	1.11	1.06
⑪	天井内・パイプシャフト内 呼び径200mm	グラスウール・40mm	7440	454	1.46	1.60	1.23	1.53	2.41	2.92	2.41	1.11	1.00
⑫	天井内・パイプシャフト内 呼び径250mm	グラスウール・40mm	9520	535	1.46	1.61	1.33	1.65	2.31	2.81	2.31	1.11	1.01
⑬	天井内・パイプシャフト内 呼び径300mm	グラスウール・40mm	11100	622	1.45	1.59	1.41	1.76	2.22	2.67	2.22	1.11	1.02
		材工単価の構成比 (%) 外装材の板金加工等がある場合											
		材料	自社（倉庫・工場加工）	現場加工・組立・取付	諸経費								
		15%	50%	15%	20%								
		材工単価の構成比 (%)											
		材料	現場加工・組立・取付	諸経費									
		30%	50%	20%									

※材工単価のうち、発生材処分にかかる労務費は、現場加工組立に含み、発生材処分費用は含まずにご回答下さい。

【様式4】規格間格比率等に関するアンケート

記入例

保温

⑤冷水・冷温水管（膨張管を含む）・冷媒管

(基準)

基準に対する歩掛り工数の比率

No.	名称・規格		材工単価 (円/m)	歩掛り工数 (代表規格 = 100)	蒸気管との 比率	屋内露出（一般居室、廊下）との比率		機械室、 書庫、倉庫との比率	暗渠内 (ピット内 含む)との 比率	屋外露出との比率			ロックウール との比率	ポリスチレン フォームとの 比率
	施工箇所・呼び径	保温材質・保温厚				合成樹脂 カバーシート タイプ	合成樹脂 カバージャ ケットタイプ			カー垂鉛 鉄板	ステンレス鋼板	溶融アルミニ ウム-亜鉛鉄 板		
①	天井内・パイプシャフト内 呼び径15mm	グラスウール・20mm	1640	55	0.57	1.33	1.47	1.00	1.28	2.32	2.82	2.32	1.15	1.38
②	天井内・パイプシャフト内 呼び径20mm	グラスウール・20mm	1730	59	0.55	1.30	1.44	1.00	1.25	2.27	2.77	2.27	1.16	1.39
③	天井内・パイプシャフト内 呼び径25mm	グラスウール・20mm	1760	65	0.51	1.28	1.41	1.00	1.24	2.21	2.69	2.21	1.13	1.37
④	天井内・パイプシャフト内 呼び径32mm	グラスウール・20mm	2250	77	0.54	1.30	1.43	1.00	1.24	2.27	2.77	2.27	1.07	1.33
⑤	天井内・パイプシャフト内 呼び径40mm	グラスウール・20mm	2330	84	0.54	1.27	1.39	1.00	1.23	2.20	2.67	2.20	1.05	1.35
⑥	天井内・パイプシャフト内 呼び径50mm	グラスウール・20mm	2550	93	0.53	1.27	1.39	1.00	1.25	2.18	2.64	2.18	1.05	1.35
代表規格	天井内・パイプシャフト内 呼び径65mm	グラスウール・20mm	2850	100	0.72	1.28	1.40	1.00	1.24	2.20	2.68	2.20	1.05	1.35
⑦	天井内・パイプシャフト内 呼び径80mm	グラスウール・20mm	3100	110	0.70	1.26	1.38	1.00	1.24	2.15	2.61	2.15	1.05	1.33
⑧	天井内・パイプシャフト内 呼び径100mm	グラスウール・25mm	3660	139	0.70	1.23	1.33	1.00	1.24	2.03	2.45	2.03	1.07	1.34
⑨	天井内・パイプシャフト内 呼び径125mm	グラスウール・25mm	4510	162	0.68	1.21	1.31	1.00	1.24	1.98	2.38	1.98	1.06	1.34
⑩	天井内・パイプシャフト内 呼び径150mm	グラスウール・25mm	5170	183	0.73	1.20	1.31	1.00	1.24	1.96	2.35	1.96	1.07	1.36
⑪	天井内・パイプシャフト内 呼び径200mm	グラスウール・40mm	6370	224	0.69	1.10	1.29	1.00	1.24	1.93	2.31	1.93	1.19	1.42
⑫	天井内・パイプシャフト内 呼び径250mm	グラスウール・40mm	9600	289	0.61	1.17	1.27	1.00	1.24	1.87	2.23	1.87	1.16	1.40
⑬	天井内・パイプシャフト内 呼び径300mm	グラスウール・40mm	11200	353	0.58	1.15	1.24	1.00	1.24	1.80	2.14	1.80	1.15	1.39
	材工単価の構成比 (%) 外装材の板金加工等がある場合													
	材料	自社(倉庫・工場加工)	現場加工・組立・取付	諸経費										
	15%	50%	15%	20%										
	材工単価の構成比 (%)													
	材料	現場加工・組立・取付	諸経費											
	30%	50%	20%											

※材工単価のうち、発生材処分にかかる労務費は、現場加工組立に含み、発生材処分費用は含まずに回答下さい。

2. 貴社が現場で働く作業員に支払っている、おおよその平均日給(手当、賞与等含む)を可能であればご回答下さい。(円/日)

班長：〇〇円/日、作業員：△△円/日

3. 保温工事の現場取付において、歩掛りに影響を与えるような要素はありますか？歩掛りに影響を与える要素がある場合は、どの程度変わるかご回答下さい。

(例：〇〇の条件がある場合は、歩掛りが1.2倍ほど増加する 等)